



COLUMN

表紙掲載製品：

山洋商会特殊電機製作所

1932年

電機メーカーとしての原点です。

1927年8月に山洋商会を創立した山本秀雄は、昭和恐慌という不景気のさなかの1932年6月、現在の東京都豊島区東池袋に念願の工場を開設、『山洋商会特殊電機製作所』と命名、電機メーカーとしての第一歩を踏み出しました。

当初は、国内で急速に需要が高まっていた通信用電源の開発に着手しました。当時の通信用電源は高周波交流発電機がほとんどであり、直流機種は少ない状況でした。また、国内製品の性能は海外製品に比べてはるかに劣っていたため、技術力の向上を追求し、直流高圧発電機の開発に挑みました。

その結果、小型交流・直流回転機、通信用電源および付属機器、配電盤などを扱う国内トップレベルのメーカーとしての体制が整っていきました。

『山洋商会特殊電機製作所』という名称には、他には真似のできない技術や用途の製品で勝負していこうという信念が込められ、その技術力を広く世間にアピールしました。